

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和2年5月14日

題字は、私の友人に「こんな学校にしたいんです。子どもたちとこうありたいんです。」と伝えると、あじのある字で題字を作ってくれました。『笑楽幸(しょうがっこう)』と読みます。みんなには毎日「笑顔で」、学校生活を「楽しんで」、「幸せに」1日1日を過ごしてほしいと思い、校長室だよりを『笑楽幸』としました。

少しでも子どもたちの様子や学校の取り組みについて情報発信できたらと思います。所感雑感もありますので、発行後に何かありましたら、校長まで連絡いただければと思います。

ありきたりですが

ピンチをチャンスに



1年生は緊張した入学式から1ヶ月、6年生は小学校最後の1年間をどう過ごすのか？それぞれが目標をしっかりと持って、新しい学校生活を送っているはずでしたが・・・誰がこのような状態になることを予想したのでしょうか。

感染症予防対策による休校で入学式・始業式後3日で臨時休校となりました。新しい生活がどんなものかも分からないまま、新しい生活を感じるものがないままの3日間だったと思います。

私も、この4月に清水小学校に赴任したのですが、みなさんの顔と名前を覚えることなく休みとなりました。

スヌーピーの漫画に、こんなやりとりがでています。

女の子のルーシーが「ときどき、私はどうしてあなたが犬なんかでいられるのか、不思議に思うわ」と言うとスヌーピーが「配られたカードで勝負するっきゃないのさ、それがどういう意味であれ。」と答えます。

新学期の生活には、学級のメンバー、先生、勉強の内容など、自分では決められないことがたくさんあります。与えられた状況、スヌーピーの言葉で言うならば「配られたカード」で「勝負」する、つまり学校生活が始まるわけです。仲の良い友だちと違う学級になり、不安に思っている人もいるかも知れません。自分が思い描いていたのと違うスタートを切った人も、たくさんいることでしょう。感染症予防対策から学校も休校になり、いつ収束するかも分からないまま、不安の中で気持ちばかり焦り、ピンチとも思える状況になりました。しかし、そんな時だからこそ落ち着いて、ピンチをチャンスに変えていくことが大切だと思います。

そんなみなさんに伝えたいのは「一人ひとりの積み重ねていく経験のほとんどは、予期しない出来事や偶然の出会いによってつくられていく」と

言うことです。

あらためてスタートをするみなさんに5つのキーワードを伝えます。「好奇心」「持続性」「楽観性」「柔軟性」「冒険心」です。

新しいこと、思い通りにならないことを楽しんでしまえる「好奇心」、「楽観性」や「柔軟性」を持つことで、気持ちはきっと楽になるでしょう。むずかしいことに出合ったときに、やってみよう、続けてみようと思える「冒険心」や「持続性」を持つことで、これまで気づかなかった自分の良さ

に気づくかも知れません。こんな時だからこそ、自分のおかれた状況から力強く一歩を踏み出して、ぜひ自分らしく過ごして行ってほしいと思います。

難しい言葉を並べたので、低学年にはわかりにくいと思いますが、高学年ならなんとなくでも伝わるかも知れません。何年か経ったときこんなことを言っていた先生がいたな！？と振り返ってもらえればうれしいです。

聞かせてほしいなあ？

清水小学校はとてもきれいな学校で、全国版の雑誌にも取り上げられたほどの素晴らしい学校です。私はそんな学校を安心安全が誇れる学校であってほしいと思っていたのに、驚いたことが起こりました。

昼休みの出来事です。二階北側の男子トイレから「見に来てください」と連絡があり、急いで見に行ってみました。見事です。上手に使用すれば、そうにはならないのですが便器の周りは水浸しで、池状態になっていました。すぐに気がついて先生が新聞紙で水分を吸い取ってくれていました。子どもたちも気がついたようで数名の児童が、便器の周りが…と知らせてくれました。

当然、「誰が？」と言うことになるのですが、もう一方では「何のために？どうしたのかな？」と言うことにもなります。

保護者のみなさんは、この状況をどう思い、どのように考えられますか？

これまでの30年以上の経験からいろんなことが考えられますが、その子どもにとって学校が安心・安全の場所でないかも知れない、何か伝えたいことがあるのかもかもしれない…とも考えられます。もしかしたら夢中になり我慢できなくて間に合わないと思いそこにしたのかも知れません。ズボン濡らすよりは良いですからね。または、イタズラかも知れません。

たくさんの方が生活しており、日々いろいろ起きることはありますが、はっきり言うならば、気持ち良く生活したいと思うならば、このようなトイレの使い方は間違っていると言うことです。

ここでお願いします。みなさんの中には休校が長かったことで、もしかしたらこれからの学校生活に困っていることや悩んでいることがあるかも知れません。まだ学校が始まったばかりですので、みんなが同じ状況です。ひとり悩まず、相談してください。校長室はいつでもオープンです。決してイタズラではないと、信じていますから…。

この便りの題名のように、みんなが笑(って)、楽(しんで)幸(せ)な学校生活が送れるように。

